• 芸術との関わ

その意義と今後の展望



関わる意義とは大阪ガスが文化・芸術に

芸術を紹介する役割を担っていたと思われます。 高い都市ガスによりライフスタイルを変えると 提案であり、 振り返ると、その始まりは1933年に竣工 文化をアピールしていこうというなかで、その なぜガス会社が講演場を持つ必要があったのか 「文化の殿堂」として市民に親しまれました。 漫才や西洋映画の上映など多彩な催しが開かれ、 が創業時からあったと思います。 た芸術や芸能も含めて紹介・提案する企業風土 土壌である関西の都市文化や地域に根付いてき と考えると、 の吹き抜け講演場では、 にみられます。館内に設けられた600人収容 した大阪ガスビルディング、通称「ガスビル」 う提案に付随して、大阪ガスは新たな文化・ 都市ガスが拓くモダンでハイカラな生活 大阪ガスが行ってきた文化・芸術活動を そもそも都市ガスは新しい文化の 薪やカマドの文化から、 エンタツ・アチャコの 利便性の

月には、 田中 長期的視点と広い視野に立って社会と事業の将 社会が目まぐるしく変化するバブル期のなか、 化研究所(通称CEL)が設立されましたが、 う意識を持っていると思います。 「私たちは単なるエネルギー屋ではない」とい 来像を描くことが求められたのでしょう。 その社風は今も引き継がれ、 創業80周年を機にわがエネルギー・文 1986年4 社員はみな

> 生まれています。 活動のなかで1987年に情報誌『CEL』 b

動の意義を考えていきたいと思います。 て携わってきた二人に話を伺いながら、 今回は文化・芸術に関わる事業に当事者とし その活

OMSという文化装置ムーブメントをつくる

田中 のマネージャーを務めておられましたね。 て若者の心を捉えましたが、山納さんはOMS 小劇場を核とするサブカルチャーの中心地とし 町ミュージアムスクエア」(以下、 CELと同時期に設立されたのが、 OMS)です。 「扇

所に投資を行いました。 ない、みんなが新しく何かを生み出していく場 上げた点です。すぐにリターンがあるわけでは 可能性が詰まっている施設」を手探りでつくり 企画委員として集め、「訳のわからない、 代理店などに一任するのではなく、専門家らを 発信基地をつくりました。注目すべきは、 うですが、実際には1億円程度の今でいうリノ 円をかけて新築ビルを建てるプランもあったよ 設に改装したのがOMSです。 雑貨店、カフェレストランを有した複合文化施 きました。そこを劇場、 から800 ませんが、大阪ガス北支社の移転に伴い大阪駅 山納 私は設立当時を知っているわけではあり ションにとどめ、雑多なアマチュア文化の メートルほどの場所に遊休資産がで 映画館、 当初は数十億 ギャラリー、 でも 大手

ベ



兼 エネルギ ・文化研究所ダイレクター〕

田中 Tanaka Masato

本智代 Kurimoto Tomoyo 文化研究所研究員

[大阪ガス㈱近畿圏部 都市魅力研究室室長] 納洋 Yamanou Hiroshi

のマネー 芸術活動に関わってきた。その歩みを間近に見続け れまでの歩みを振り返りながら、 のプロデュースを行う山納洋 (写真左)の3人が、 代 (写真中央)、かつて「扇町ミュージアムスクエア」 映像で伝える「語りベシアター」を手掛ける栗本智 中雅人(写真右)、関西の街の文化や歴史を語り・音楽・ てきたエネルギー・文化研究所のダイレクター・田 る意義や影響について語り合う。 大阪ガスは地域共創活動の一環として、広く文化・ ジャーを務め、 現在も数々のプロジェクト 文化・芸術に携わ

Z

奥山晶子=構成

田中 もOMSの劇場で活躍していました。 今や全国区で活躍する劇団☆新感線など

田中 ます。 情報発信の拠点という意味合いもありました。 とてもおもしろい。ここが大阪ガスの運営であ るけれどソフィスティケイテッドされた空間が 観客は体育座りで演劇を楽しみ、混沌としてい 彼らが躍進したきっかけのひとつと言われてい える存在でもありました。若手劇団の才能に早 ることが誇りでしたね。 て十分な訴求ができていなかった若者に向けた くから気づき、稽古場を安価で提供したことが OMSは若い芸術家たちに活動の場を与 また会社としては、 当時は私もよくOMSに通いました。 結果論ですが、 大阪ガスの客層とし



第7回OMSプロデュース公演「深流波」(2002年5月18日~26日)。 写真/谷古宇正彦



から、 という発想が広がりました。 は大阪ガスの都市開発の緒に就い 社有地など遊休資産をいかに活用するか た案件。 ァンァン

芸術性の高さをより意識した場へと近づきはじ 能を世に知らしめ次のステージに押し 品に賞を与え注目してもらうことで、 り組みです。混沌とした若者文化の実験場から、 めた印象があります。 S戯曲賞が創設されます。文芸的価値が高い作 施設の10周年には、記念事業としてOM し上げる取 新たな才

田中 題から2003年に閉館を余儀なくされます。 支援の役割が、企業から行政へ、箱モノからソ MSも若者の文化活動を後押しするパトロン的 モノから企業が次々と撤退していきます。 2000年代になると、OMSだけではなく箱 が建設され、 な存在でした。その後、 によるメセナやフィランソロピーが盛んで、 へと変わったタイミングでした。 時代の流れもありました。80年代は企業 そんなOMSも、老朽化や経費面での課 行政側が文化支援を行うように。 90年代は公共のホール 文化 Ο

地域活性につなげる歴史発掘と文化伝承を

栗本 て、 舞台で歌うこともあります。 的な演出・効果を取り入れています。私自身が を選んで台本を書き、情緒を伝えるために音楽 んだ」と気づいていただくために、自分で言葉 文化を知ることは、こんなにおもしろいことな を浴びるようになりました。「わが街の歴史や が好評をいただき、 らヒントを得て、音楽を盛り込みました。それ 若い人が楽しめない」と、ミュージカルなどか 言われたのですが、20代だった私は「それでは スライドで地図やイラストを紹介しなさい」と 動を始めた当時、 や文化を掘り起こし、語り、 出を務める「語りベシアター」が始まります。 楽しくわかりやすく紹介する公演です。 「語りベシアター」は、 9年代には栗本さんが語り手、台本、 上司からは「講談風に語り、 新聞社との共催などで注目 映像、音楽を交え 関西の街の歴史 活 演

栗本 田中 もしれません。 何かくすぶっていたものが一気に爆発したのか なってからの数年間は研究テーマが定まらず、 団に入っていました。またCELの研究員に 期には宝塚歌劇に夢中になり、大学以降は合唱 幼い頃からピアノやバレエを習い、 そんなことが、 いきなりできたんです 思春 か

田中 かきっかけはあったのです なるほど。語りベシアター ーを始める、 何

> 今では関西全域が活動範囲になっています。 品をつくり、公演を重ねていきました。そのう 弱いことだ」という問題意識が膨らみました。 当時、 の街を舞台にした作品を発表する機会に恵まれ ち大阪を飛び出して神戸や西宮、尼崎でも各々 語やエピソードがある場所にフォーカスして作 馴染みがありながら、あまり知られていない物 や文化がある。問題は、 れているけれど、 調べるうちに「大阪は文化不毛の地などと言わ 田んぼと畑だったなど、知らないことばかり。 だったのですが、見方がまったくわからない の古地図を見せられたことです。元禄期の地図 初めは御堂筋や中之島など、大阪人にとって 船場が中心街で、 「これはどこの地図かわかるか」と大坂 こんなに豊穣な誇るべき歴史 その伝承力があまりに 梅田は郊外のさみしい

田中 れておられますね。 現在は、活動の担い手の育成にも力を入

のワー 栗本 や公民館にまで裾野を広げるための取り組みを そうですね。 クショップを始め、地域の小さなホ 2013年から担い手育成 ル



年配の方が多く、 自発的に作品をつくり、 歴史を知り、 伝える視点や手法を学んだ後、チー 行っています。参加者は、地域の魅力を見直し える楽しさを知っていただきたいです。歴史を知り、自分なりの視点で物語を紡ぎ、 えています。 プしていますが、状況を見て再開できればと考 ぜひ若い学生の方々にも自分たちの街の 課題は、若い世代へのアプローチ 今はコロナ禍で活動はストッ 発表会を行っています。 ムを組んで 伝

2本柱のドラマ制作作家養成と地域貢献

私は、 かれ 山納 声』がきっかけで、誕生しました。大竹野さん ジオドラマや朗読劇として発表する取り組みで Ŕ イスト 地域の文化や歴史をテーマに作品化し、 2 0 1 1年に始まった「イストワ

受賞の前に事故で亡くなられたのですが、 た第16回OMS戯曲賞大賞受賞作品『山の ルは、故・大竹野正典さんが書 ル ラ

この作品を何とか世に広めたいという想 化し、 山納 栗本 ワ と街との関わりが生まれます。 地域の方々に思ってもらえれば、

いで奔走し、その結果、 化を実現させました。 MBSラジオでのドラ

というイストワー 家に、実在した人物のドラマ制作を依頼する」 ラマ化にあたり、「OMS戯曲賞を受賞した作 家を題材にした芝居です。この作品のラジオド 『山の声』は加藤文太郎という、 ルの構想が生まれました。 実在した登山

る間に、 いただく、 できるということもわかってきました。 もに、作家の新たなファンをつくるサイクルが 見に来られ、翌日に町のあちこちで声をかけて でも上演したのですが、 知られた登山家で、 加藤文太郎は、 イストワールには、作家を鍛えるとと という経験をしました。上演を重ね 出身の兵庫県美方郡ではよく 『山の声』は同郡新温泉町 その時には町中の人が

さらに て伝えていくというのがテーマですが、イスト ルはどうでしょう。 語りベシアターは地域の魅力を再発見し 魅力を再発見してもらうのが狙いです。 その地域でよく知られている人物を作品 「この土地で再演し続けていきたい」と そこにわが社

に当時の厚生省が提唱しはじめたソーシャルイ いく方向に舵を切りました。また、2000年 とアーティストが手を携え社会問題を解決して からパー 企業メセナ協議会は2001年に ージョ トナーへ」と題した提言を出し、企業 ン (社会的包摂)もアー パト 0 あり ロン

> では、 こうしたアートと企業と地域の関わりの変化を が地域の方々とつくり上げていくイストワ が、地域が望む作品をアーティストと大阪ガス 演した作品を選ぶ戯曲賞は「パトロン的」です 意識しています。作家が自由に書き下ろし、 ようになりました。イストワー 方に影響を与え、 いう視点を大事にしています。 い者のため、 自分たちは地域に対して何ができるかと ア 地域のため、 トに何ができるかを意識する お年寄りや障が ルにおいても、 ル

だろうと思います。 いうムーブメントは、少しずつ芽生えていたのを負った地域をアートの力で元気づけていくと 栗本 たと言われています。2000年以前から、 トと社会の関わり方が変わる大きな節目になっ 1995年の阪神・淡路大震災も、ア 傷

田中 ર્શ્ 目が覚めたことで、芸術も、芸術に関わる企業 震災があり「成長一辺倒ではない」と国全体の その役割を変えていったのかもしれません。 高度経済成長期を経てバブルが弾け、 大

二つの活動の相違点語りベシアターとイストワー

栗本 両者とも、自治体との連携で作品づくりをする 気にするための手段となっているところです。 二つの活動の共通点は、芸術が地域を元

向に向かっていると思います。 山納 どちらも「社会のための芸術」を探る方 ただそれ は



■OMSで活躍した主な劇団

劇団☆新感線 劇団 21 世紀 FOX 南河内万歳一座 劇団扉座 リリパット・アーミー 劇団大阪太陽族 劇団3〇〇 桃園会 維新派 劇団ジャブジャブサーキット

ブリキの自発団 劇団青い鳥 燃光群

カムカムミニキーナ 劇団黒テント HIGHLEG JESUS 阿佐ヶ谷スパイダース 劇団 M.O.P.

扇町ミュージアムスクエア(OMS)とは

大阪の真ん中からあらゆる文化を発信した 日本における複合文化施設のパイオニア

1985年、大阪ガス北支社をリノベーションしてつくられた 複合文化施設。かつてガス器具の倉庫だった場所を200人 収容の劇場に、事務所スペースを映画館や雑貨店に、ショー ルームをカフェレストランへと改装した。劇団事務所や稽古 場、「ぴあ」関西支社も施設内にあり、さまざまなジャンルが クロスオーバーする賑やかな空間は、やがて関西演劇の中心 地として語られるようになっていく。ブレイク前夜の「劇団☆ 新感線」や、八嶋智人が所属する「カムカムミニキーナ」の 作品が上演されるなど、今や押しも押されもせぬ存在となっ たアーティストたちの若き時代を支えた。

1994年、10周年記念事業として「OMS戯曲賞」を創設。 大賞作品は OMS プロデュースのもとで再演も行われた。戯 曲賞活動は「メセナアワード」で関西の演劇支援を評価され、 「演劇ともしび賞 | を獲得している。2003年の閉館後も戯 曲賞は継続し、関西の次代を担う新しい劇作家の登竜門とし て現在も注目を集めている。



語りベシアター ONLINE 「天神祭」。 コロナ禍で会場での公演が難しくなったが、 「天神祭」が疫病退散を祈る夏祭りであることから コロナ対策の意味を込めてオンライン配信を実施。 YouTube 「語りベシアターチャンネル」▶



ることに可能性を見出す

人たちを増や

P

0

仕事自体を増や

そう

たビジ

3

のが目的だっ

たの

で、

自らイストワ

は

作品でひとつの区

切

方で地域

0

作品をア

テ

イ

トととも

につ

て

ク

工

タ

しての ス

力を伸

ば

田中

あらゆの を企画運営するの

挑戦 ちと一緒に、 私が淡々と画面上で語るだけでなく、 き演劇」をつくろうとして な状態ですが、 市民と演劇をつくる取り組みを兵庫県豊岡市で 発信が難しくなってい がます。 つい か 納 中 ドと街を歩く 家と地域をリ 何らか しました。 す情熱があっ 語り 今は 2 て今後の課題を含めお聞かせくださ また今はコロナ禍で舞台上演が困難 コロ 2 の劇体験を楽しんでもらう 持ってい シアタ 、ように、 そこで諦めるのではなく その実験的な取り組みにより、 年度 ナ禍で文化 サ てこそ、 チ か では、 ・ます る技術や材料を最大限に ら 0 して作品を書きおろ 役者が街歩きをガイド が、 います。 街 M 芸術活動の支援や オンライ S戯曲賞の受賞 の物語や本質が 新たな取り組み 観光者がガ 音楽家た 「街歩

つも

のであることは忘れては

いけ

ませ

h

ワ

ルとの違いとして、

語りべ

価値を追求する人たちの実験のうえに成り立

のため

の芸術」、

な

わ

ち、

芸術それ

自体

等が磨きあげ

た芸術的表現力により、

より

物語 タ

では、 イスト

音楽家や役者、

イラスト

伝

ŋ

社会に還元されて

います。

ゆる豊かさをい気性を継承し 地域と市 民

的は、

と

現方法であると実感 術は高みにあるものではなく、 っかりと視聴者に伝わると確信 -ン配信に ものです。

(ESP) に従事

イストワール

関西に実在した人物 や実際に起こった事件 などを題材に、OMS 戯曲賞受賞作家がドラ マを書き下ろすプロ

域活性化コンテンツを発信することと、作家育成を目的と 各地で公演を行ってきた。

■ 作品一覧

「山の声」 原作:大竹野正典

脚本・演出:加藤芳樹

「LOOP」 脚本・演出: 横山拓也

第3話 「ちひさきもののうた」

脚本・演出:小栗一紅

笙5 鈓 「芽吹きの雨」 脚本・演出:高橋恵(虚空旅団)

第6話 「蘆州のひと」 脚本・演出:高橋恵(虚空旅団)

「Port ―見えない町の話をしよう―」 第8話

脚本・演出: 久野那美 (匣の階)

笙9話

ジェクト。地域資源を掘り起こしたシナリオを開発し、地 して、2011 年から19 年まで、10作品を企画・制作。 MBS ラジオでの放送 (第7話まで) のほか、朗読劇として 写真/井上信治

ヨーロッパ企画

WAHAHA 本舗

「秋茄子のススメ」 脚本・演出: 岡部尚子(空晴)

「みつめればそこに」 脚本・演出:小栗一紅

「雪間の草」 脚本・演出:高橋恵(虚空旅団) 第10話 「港でカモメがやすんでる日はね、千帆ちゃん」

脚本・演出:蟷螂襲 (PM/飛ぶ教室)





映像を交えた独自の手法で伝える公演活動。1994年の誕

「曽根崎心中考」

「大阪モダニズム物語」

「御堂筋ものがたり」

「わがまち中之島ものがたり」

「夫婦善哉考 ──織田作之助の世界」

「淀川ものがたり 一治水翁 大橋房太郎」

「通天閣ものがたり」

「甲子園ものがたり」

関西の豊饒な歴史 や文化、まちのエピ

ソードや将来の可能 性などを、クリエイター と協働し、語りと音楽、

生当初は大阪を活動範囲とし「なにわの語りべ」と名乗っ ていたが、関西全域へ活動を広げ、2016年に「語りベシア ター」へ名称変更した。語り手・作り手の養成も進めている。

■主な上演作品

「嗚呼、道頓堀・心斎橋一街は劇場、ミュージアム」

「梅田は西からやってきた―ターミナル開発ものがたり」 「上方芸能の舞台としての大阪 ―上町台地時空散歩」

「谷崎潤一郎 ― 愛と創作のジャンクション」

「神戸、居留地ものがたり一多文化共生の街」

「わがまち尼崎ものがたり―アマにしかない歴史と技術と都市文化」

展させることにより、 ひとつの要素が文化・芸術であり、 は未来は創れません。 なることに少しでもお役に立てれば本望です してい 長しながら社会に ってきたノウハウや いうことを本業として 八は昔 ・芸術に関わる事業も花開 してみる「やってみなは 市民に豊かな生活を提供すること。その 草の根活動に手を貸し、 こう Iから 我々は て二人の話を聞 「豊かさ」 工 0 ネ 気性を持ち、 地域と市民がより豊かに 我々の活動の最終的な目 ・ルギ ネ いま 1 とい ワ 1 で社会に貢献す ともに楽しみ成 う変化を起こ の精神により 思い たように感じ クを維持・発 そ る これまで れだけ 1 たら ね で る

語り、こ、 では、ここでは、 「リー」による都市魅力の 「リカリ現職。まちの個性や が究員。1988年、大阪

そもそも作家を育てる構想だということ。

もうひとつの違い

は、

イスト

ワ

ルが

さんは演者であり

作家でもありますが、

僕はプ

栗本

たら、 ュ

自分の腕が鍛えられ、

ファンが増え

スに徹し、

・ファ

されて

作品をつ

ことを作家本人が知る手助けを

としての

一面だけでなく、

財大阪21世紀協会

43 CEL March 2021 CEL March 2021 42